

## 審議会等運営ガイドライン部会報告

## メンバー

部会長 土山

委員 乾, 大木, 河嶋, 小林, 野村, 松山, 吉川

## ■第1回（平成20年10月27日）

## 議題

「審議会等運営ガイドライン（仮称）」の策定について  
（とにかくみんなしゃべる！この部会への期待，思いを出し合おう。）

## 主な議論

- 公募委員になったとき，何をしたらいいのか分からなかった。公募委員に期待することを明確にするべきだと思う。フォーラムは勉強会がありしゃべりやすくなった。
- 他の審議会のことだが，自分での外れな意見を言っていると感じた。しかし，それ以上の言葉が出ない。でも，専門家も勝手な話をしていると感じた。
- 審議会の内だけでなく，生活の中で「公募委員」としてみんなの意見を聞きたいし，発言していきたいと思っている。
- 以前に公園整備でワークショップに参加したが，1回目に設計図が出来ていた。
- 審議会を傍聴して一番面白いと思ったのがこの市民参加推進フォーラムだった。元気がよく，自分の言葉でしゃべっている。他の審議会は，立場や肩書きがしゃべっている。
- このフォーラムは，市民公募委員が根本的な指摘をしてくれるので，専門的見地と経験がうまく絡められたら良いと思う。
- 興味本位で委員になったが，テーマを明確にして発言を求めてくれたら話しやすい。
- 公募委員になるのに，事前に傍聴していることを義務化することには抵抗がある。公募委員も事前に勉強したほうが良いというのは，公募委員を専門家にしようとするのか？
- 公募委員になったら初回からトップギアでしゃべりたい。
- 市民公募委員と専門家との役割分担は必要。
- 市民参加円卓会議では，自分の入った審議会が自分の興味のあることとは違っていたとの感想を言っておられる方がいた。
- 市民公募委員は市民の代表ではない。
- 他の人の話をうまくフォローして，筋との関係を見出す人がいると上手くいく。

クロストークが出来上がる方が良い。

- 市民公募委員に求められていることは何か。今は決められているから入れているだけ。ガイドラインの精神に立ち返る必要がある。
- どの段階でどうやって市民の参加を求めるのかというトータルデザインが重要で、その中に市民公募委員の入る審議会が位置付けられる必要がある。
- 市民公募委員だけ「補習」に呼ばれた。…本会で下手なことを言われたいため？

#### 今後の進め方

- 何のために何を入れるのか…ガイドラインのイメージを作っていく。
- そのために、他の審議会を傍聴して、いい審議会のイメージを整理しよう。

### ■第2回（平成20年11月26日）

#### 議題

##### （1）審議会ウォッチの報告

京都水族館整備構想検討委員会 … 新妻

京（みやこ）のみちデザイン指針検討委員会 … 小林，新妻

地域コミュニティ活性化に関する懇話会 … 樹下

環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議 … 河嶋，松山

##### （2）ガイドラインのコンテンツ

#### 主な議論

- 審議会傍聴の報告
  - ・京のみちデザイン指針検討委員会  
コンサルがかなりの部分を説明していた。
  - ・京都水族館（仮称）整備構想検討委員会  
市は土地を貸すだけ。そのチェックが審議会の役割？何で議論するのか分からなかった。
  - ・地域コミュニティ活性化に関する懇話会  
発端はマンション住民を町内会にいかにして入れるか。  
学生枠での市民公募委員を募集している。  
開催回数は2年間で6回だけ→市の考えることを審議会でオーソライズするため？ 市民との意見交換は期待していないのか？
  - ・環境にやさしいライフスタイルを考える市民会議  
写真撮影を巡って、傍聴者の出版社と市民公募委員とのけんか腰の事態が発生。  
公開とはどこまで、なにを？
- コンテンツの議論

- ① 何を審議会でやるのか ～ 公聴会や地域説明会との違い
  - ② 公開か，非公開か
  - ③ 公募委員を入れるか，入れないか。 枠つき公募もありえる。
  - ④ 回数を目安
  - ⑤ 告知の時期
  - ⑥ 開催時間
  - ⑦ 事務局の役割
  - ⑧ クロストークとマイクと傍聴人
- 委員は組織の代表者か。
  - 資料は事前に欲しい。
  - ネーミングは内容をキチンと伝えるものである必要がある。(ライフスタイル)
  - 誰に発信するか？ 市民へ
  - Welcom を示すことが大切

### ■第3回（平成20年12月22日）

#### 議題

- (1) 審議会ウォッチの報告とその検証
  - 京都市廃棄物減量等推進審議会「第4回新京都市循環型社会推進基本計画策定にかかる専門部会」 … 松山
  - 向日市総合計画審議会 … 樹下
  - 向日市公立保育所のあり方検討委員会 … 樹下
  - 神戸市教育振興基本計画検討会 … 宮原
  - 京都市公共事業評価委員会 … 土山，河嶋
- (2) 審議会等の現状の分析
  - 審議会の名称ごとの分類とその傾向の分析

#### 主な議論

- 審議会傍聴の報告
  - ・京都市廃棄物減量等推進審議会「第4回新京都市循環型社会推進基本計画策定にかかる専門部会」
    - 学生枠があつたが，あまり発言はなかつた。
    - 取り扱うものが広く，当日のメインテーマが不明確。時間がなく，後半の部分が議論できなかつた。
    - 18人も傍聴者がいるのに，会議の途中で委員だけにコーヒーが出された。
  - ・向日市総合計画審議会
    - 本題よりタイトルをどうするかの議論が長かつた。

- ・向日市公立保育所のあり方検討委員会
  - 民営化の議論か？傍聴者28人。多くが保育士＝利害関係者
  - 意見対立の構造がそのまま審議会に持ち込まれている。
  - どのタイミング、状況で審議会に入るか？他のプロセスが必要か？
- ・神戸市教育振興基本計画検討会
  - 椅子は立派だったが、机が欲しかった。
  - 市政アドバイザー1名が入っていた。(1,000人以上無作為に選んで市長が委嘱)
  - 仕組みを調べよう。
- ・京都市公共事業評価委員会
  - 持ち帰りのできる配布資料は薄かったが、閲覧ファイルは充実(持ち帰り不可)。
  - 公開、非公開を毎回会議の冒頭で決定している。(当日帰れと言われるのも変)
- ガイドラインのイメージ
  - ① 市民向きもあっていい → 新妻氏の助けを借りて
  - ② **A 市役所向き**
    - A-1 審議会設置・運営の判断基準
    - A-2 公募市民の役割,(どんなときに入れる)選定
      - 市民代表?!…市民感覚の代表でもないのでは?
    - A-3 公開するときのコツ
  - B 市民向け**
    - <心強くなるマニュアル(市民向けガイドマニュアル)>
    - みんなで考える。
    - <おすすめ>
- ③ 傍聴者の位置づけ,対応

#### 今後の進め方

- A-1からA-2について,次回までに各人のアイデアをメモとして出すこと。(次回にこれを議論)

#### ■第4回(平成21年1月15日)

##### 議題

- (1) 審議会ウォッチの報告
  - 京都市市政改革懇談会 … 小林, 新妻
- (2) 審議会等運営ガイドラインに記載する項目の整理
  - 皆さんの持ち寄ったアイデアで議論
- (3) 公募委員交流会で実施する内容の検討
- (4) 神戸市市政アドバイザー制度の検証

## 主な議論

- 審議会ウォッチの報告
  - ・京都市市政改革懇談会

委員の中に自分の立ち位置が分からないという人がいた。委員の役割などの指針があれば良いと思った。

専門家が市民感覚で役所を批判していた。専門家としての立場で話さない委員に対する評価があってもよいのかも。
- 神戸市市政アドバイザー制度は、住民基本台帳から 8000 人無作為に抽出し、案内を郵送し、それに応じた 1000 人程度の市民に委嘱するもの。審議会で市民公募をするか、市政アドバイザーを活用するかは、審議会の所属が自由に選択できる。

直接郵送することで、普通の公募には手を挙げない人に関心を持たせることができるのかも。こういう層、こういう年代の人をターゲットにしたいときに、こういう制度があるとおもしろい。

- 関心がある分野を登録してもらい、その中から公募委員を選ぶ制度をつくり、その人たちを対象としたセミナーを開くようなことをやっておけば、公募委員が議論に入れられないという課題に対応できるのではないか。市民公募委員の公募専門の所属を一本化して、すべての審議会の公募委員の募集をここで行うというのはどうか。
- 審議会のタイプごとに、公募委員の果たす役割や他の委員との関係をパターン化する作業が必要。
- 専門性の高い審議会で市民委員に求められるのはお目付け役ではないか。分からないという立場の人がいても良い。せつかく市民公募委員を入れる制度になったのにもかかわらず、ここで入れなくてよいというのはいかがなものか。
- 市民公募委員が意見を言える立場をどう作るかがこのフォーラムの目的だと思う。公募委員は孤立しやすいことも書きたい。
- 市民公募委員に何を求めているのかを明確にするべき。
- 審議会設置段階でのチェックリストを提案しても良いのではないか。
- 目的にあった年代や性別の偏差，ニーズに限りがある場合にはこういう人に来て欲しいというのもあり。このときには、公募委員に期待する役割を明確にすること。自由な議論ができるよう期間と時間を確保すること。これらを明記すること。
- 事前に市民公募委員にレクチャーもよしあし。議論の中身や役割を事務局が一方的に説明し、疑問があれば会議の中で聞いてもらうことにすれば良いかも。
- 市民公募委員サロンを月 1 回開いて、意見交換をするのもいいかも。

## 今後の進め方

A-2 を実際に書き始めよう。

- ① 役割を明確化し，市民参加推進フォーラムの視角を入れよう ⇒松山さん
- ② 市民公募委員は市民感覚の代表者ではない。 ⇒土山さん
- ③ 議論の時間を確保しよう ⇒河嶋さん
- ④ 公募委員の孤立，発言をしにくくならないよう，事前の情報提供はありえる。しかし，難しい課題もある。 ⇒ 小林さん
- ⑤ 月に1回市民参加推進フォーラム主催で「公募委員サロン」を開く（提案）
- ⑥ 市民公募委員の選定の窓口を一本化する（提案）
- ⑦ 市民参加の立場からそれができているのかのチェックリストを作る（提案）